

環境基本計画の課題別の目標及び施策展開方向

2 自然に親しみ自然とともに生きる地域づくりの推進

(目標)

- ①府民が自然に親しむ場や機会を充実させるとともに、自然との共生の中で育まれてきた地域固有の文化や景観、暮らしの知恵などを継承し発展させます。
 ②府民協働により絶滅のおそれのある野生動植物の保全回復を進めるとともに侵略的外来生物の防除や増えすぎた野生鳥獣の個体数管理を行います。

■ 自然とのふれあいの機会の充実

番号
29

・府民が自然とふれあう機会を創出するため、生態系に配慮し観光客等のニーズも踏まえながら、自然公園等における休憩施設や地域の自然等の解説板の整備を計画的に進めるとともに、棚田や里山などにおける農林漁業体験プログラムを充実します。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	・府自然環境保全地域にかかる緑と文化の京都事業	・同左継続	・同左継続	府内12地域の散策路、案内看板等の設備の維持管理及び広報啓発	H24年度～25年度 生態系維持回復事業を6地域実施中(シカ防御用ネット整備、ナラ枯れ対策) ・枯れ木伐倒処理修繕 25年度 3地域	イノシシ、シカ等による下層植生の食害、なら枯れにより生態系破壊が進行 【自然環境保全課】
	・自然公園等施設整備事業	・同左継続	・同左継続	国定公園、長距離自然歩道において、案内板やトイレ等を整備	H25年度 設備整備 3箇所(車両誘導標識、歩道整備、トイレ整備)	自然公園等のPRの強化、新規指定公園の指定促進 【自然環境保全課】
	・共に育む「命の里」事業	・同左継続	・同左継続	・過疎・高齢化が進む農山村の再生に取り組む地域連携組織が行う、地域活性化や絆の再生に向けた祭りの復活や都市との交流イベント等の実施	・宮津市世屋等 101回実施(H25.9末)	・引き続き推進する 【農村振興課】
	・ふるさと・棚田支援事業	・同左継続	・同左継続	・「ふるさと発見隊」などを活用しながら、子供達を対象とした農業・農村の役割や文化、歴史などの学習会や農作業活動を通じて、ふるさと農山村に誇りと愛着を高める取組を実施	・宇治田原町糠塚等 38回実施(H25.9末)	・引き続き推進する 【農村振興課】

番号 30	・豊かな自然を教材とする環境学習を普及するため、自然公園指導員等による観察会の開催を進めます。特に、「丹後海と星の見える丘公園」における環境学習に関するノウハウを最大限活用し、地域の小中学校などと連携を強めながら、自然との共生を実地体験できる学習活動を展開します。					
	関連事業	平成23年度 ・丹後海と星の見える丘公園指定管理委託	平成24年度 ・同左継続	平成25年度 ・同左継続 ・宿泊施設等整備	事業概要及び関連計画等 ・公園管理者を指定し、公園施設管理と併せて、公園内での環境学習の取組を実施	直近の取組の実績(進捗状況)等 ・環境学習参加者 4, 830名(H25.12末)

番号 31	・「自然公園ふれあい全国大会」の開催(平成21年9月)を機に気運が高まりつつあるエコツーリズムの普及定着を図るため、地域の自然の解説者(インタープリター)となる地元ガイドを計画的に養成するとともに、子どもの自然学習や定年退職後の高齢者の健康づくり等をターゲットにしたエコツアーコースを整備します。					
	関連事業	平成23年度 ・自然公園等施設整備事業	平成24年度 ・同左継続	平成25年度 ・同左継続	事業概要及び関連計画等 ・自然公園、自然歩道において関係市町等が展開するエコツーリズムの推進に寄与する基盤としての施設整備を行う	直近の取組の実績(進捗状況)等 ・誘導標識や歩道整備を実施

■ 生命を育む自然の保全と創出

番号
32

・里地・里山・里海など人間が関わることにより形成され維持されてきた自然を保全・継承するため、多様な主体の連携によるモデルフォレスト運動や、地域固有の自然環境の保全の活動の促進、環境にやさしい農林水産業の普及などを進めます。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
関連事業	・自然環境保全地域生態系維持回復事業	・同左継続	・同左継続	・府内12地域の自然・生態系保全のため、個別の計画を策定し、対策を実施	・H23年度計画策定地域 4地域 ・H24年度 " 4地域 ・H24年度シカ防止柵設置 3地域 ・H25年度シカ柵防止柵設置・ナラ枯れ対策3地域	・他の地域についても順次対策の実施以前の植生に戻るには少なくとも数年間は必要であり、継続的な対策が必要 【自然環境保全課】
	・京都モデルフォレスト創造事業	・同左継続	・京都モデルフォレスト推進事業(組替)	・府民参画・府民協働により京都の森を守り育む「京都モデルフォレスト運動」の推進	・京都MF運動への参加人数 延べ7,000人(H24)	・運動のすそ野の拡大 ・森づくり活動の自立的継続 ・全国育樹祭に向けたモデルフォレスト運動の盛り上げ 【モデルフォレスト推進課】
	・有機農業・環境調和型農業支援事業	・同左継続	・同左継続	・化学肥料と化学合成農薬の5割削減に加え地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う農業者を支援(人と環境にやさしい農業推進プラン)	取組面積 148ha 内訳 有機農業 53 緑肥栽培 9 草生栽培 3 冬季湛水 83 (H24)	・地球温暖化防止等の効果を高めるため、集団的な取組の促進 【農産課】
	・農と環境を守る地域協働活動支援事業(営農活動支援部分)	・平成23年度をもって終了		・地域でまとまって化学肥料と化学合成農薬を5割削減する取組を支援	取組面積 386ha 内訳 水稲 306 麦・豆 28 葉茎菜類 40 など (H23)	【農産課】
	・農林水産業基盤整備事業(「鴨川のアユ」復活プロジェクト推進事業)	・同左継続	・同左継続	・府民協働による河川の水産資源の回復や環境保全活動の実施	・天然アユの遡上を促すための鴨川での仮設魚道設置、天然遡上アユ数調査、天然アユ遡上見学会、アユ等に関するシンポジウムの開催、環境フェスティバルへの出展など	・活動を継続実施するための財源の確保 【水産課】

番号 33 ・各地域の美しい風景やそこに生育生息する動植物の生態系を保全するため、自然公園区域や自然環境保全地域等においては、法令に基づく開発規制の徹底、自然と接するマナー啓発などを行い適切な保全と利用を進めます。						
関連事業	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
	・府自然環境保全地域にかかる緑と文化の京都事業	・同左継続	・同左継続	・府内12地域の散策路、案内看板等の設備の維持管理及び広報啓発	・地域ごとに監視員(28名)設置 ・監視員会議実施予定(H26. 3)	・不法投棄、ゴミ捨てなどのマナー啓発の徹底 【自然環境保全課】
	・自然公園等維持管理事業	・同左継続	・同左継続	・自然公園法に基づく、公園内行為許可事務の実施	・H24年度 行為許可件数 65件	・自然公園内での規制行為に対する広報、周知の徹底 【自然環境保全課】

番号 34 ・山陰海岸においては、貴重な地質遺産を保全するとともに、それらを活用した環境学習や観光振興の取組をジオパークの活動として展開します。また、近畿有数の貴重な原生的自然である由良川上流域については、その学術的価値を評価し、地域の理解と協力を得ながら、自然公園等の指定を検討します。						
関連事業	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
	・ジオパーク推進事業費	・同左継続	・同左継続	・山陰海岸ジオパーク事業推進のため推進協議会等の活動への支援	・京都駅前PR活動 ・京丹後市域の散策モデルルートの検討 ・世界ネットワーク認定更新審査対策 ・道路看板設置	・観光振興への取組支援の展開 【自然環境保全課】
	—	・新規国定公園調査事業	・新規国定公園調査事業	・芦生地域を中心とした由良川及び桂川上中流域の新規国定公園指定の検討	・各種データ及び現地調査を基に、新規公園地域の範囲検討	・地元、関係市町との連携を強化する展開 【自然環境保全課】

番号 35 ・都市部においては、ヒートアイランド現象を緩和するため、緑の募金を活用した地域の緑化活動への支援や、地球温暖化対策条例に基づく建築物等緑化促進制度による建築物等の緑化を進めます。						
関連事業	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
		・建築物等緑化制度の運用	・同左継続	・同左継続	・府地球温暖化対策条例に基づき、一定規模以上の建築物について、緑化を義務付け、計画と完了の届け出を受理	・H25年度末 緑化工事完了 505件 地上部 162,358㎡ 屋上部 7,670㎡
	・公益社団法人モデルフォレスト協会による森林資源の整備・保全及び啓発活動	・同左継続	・同左継続	・緑の募金による事業 森林整備、緑化推進、地域での取組支援	・H24年度実績(緑の募金事業) 森林ボランティア団体等助成 13団体 地域団体に苗木を配布 460本 学校緑化助成 20校 地域団体へ募金交付 9団体	【モデルフォレスト推進課】

番号 36 ・公共事業による環境への負荷を低減するため、京都府が実施する公共事業について、『『環』の公共事業行動計画ガイドライン』に基づき、地域のあるべき環境像を明らかにしたうえで、構想や計画、実施の各段階で、地域の自然や文化との調和について点検と評価を行います。さらに『環』の公共事業の取組を、市町村の公共事業にも広げていきます。						
関連事業	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
		・『環』の公共事業行動計画	・同左継続	・同左継続	・環境共生型の地域社会づくりを目指した府の公共事業推進するため、ガイドラインを策定して評価を実施、公表	

■ 生物多様性の保全

番号	37					
・京都府域の生物多様性を保全するため、大学や自然保護団体の保有するデータ、環境アセスメントにおける調査データ等を時系列の地理情報として集約整理し、生物多様性保全のための基礎資料として活用する仕組みを確立するとともに、これらのデータを府民に提供し、環境学習や保全活動に活用する拠点機能の整備を検討します。						
関連事業	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
	・府レッドデータ更新調査	・同左継続	・レッドリスト更新	・府生物多様性戦略を策定するため、平成14年度にとりとめたレッドデータについて更新、普及・啓発等。	・H25年8月 更新したレッドリスト公表。現在レッドデータブックを作成中。	・生物多様性に係る情報収集、蓄積、発信ができるセンター機能を持つ拠点の整備。 【自然環境保全課】

番号	38					
・京都府域の希少野生動植物種の保全回復を図るため、「絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例」に基づく府民協働による生息地等保全活動制度を活用し、アユモドキやオオキンレイカなどの保全回復を進めます。						
関連事業	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
	・絶滅のおそれのある野生生物保全対策事業	・同左継続	・同左継続	・府条例に基づく指定希少種の保全事業を府民と協働して推進	・指定希少種25種のうち、24種について保全回復事業計画策定済み ・生息地指定の取組に係る保全団体との協議を実施	・府民協働保全事業の広がり、指定希少種の追加 【自然環境保全課】

番号	39					
・外来生物による生態系等への被害を防止するため、「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」に基づく市町村防除計画の策定を促進し、アライグマなど侵略的外来生物の防除を進めます。						
関連事業	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業概要及び関連計画等	直近の取組の実績(進捗状況)等	今後の課題等
	・アライグマ防除対策事業	・アライグマ及びヌートリア防除対策事業	・アライグマ及びヌートリア防除対策事業 ・アルゼンチンアリ防除対策事業	・府及び市町村で構成する協議会において、特に農産物への被害が大きいアライグマ及びヌートリアについて、広域的防除を実施 ・京都市、地元住民等との協働及び関係機関と連携したアルゼンチンアリ防除	・H24年度協議会で防除アライグマ 374頭 ニュートリア 4頭	・モニタリングを実施して検証を行うことが重要。効果的な防除を実施し、根絶を目指す。 【自然環境保全課】